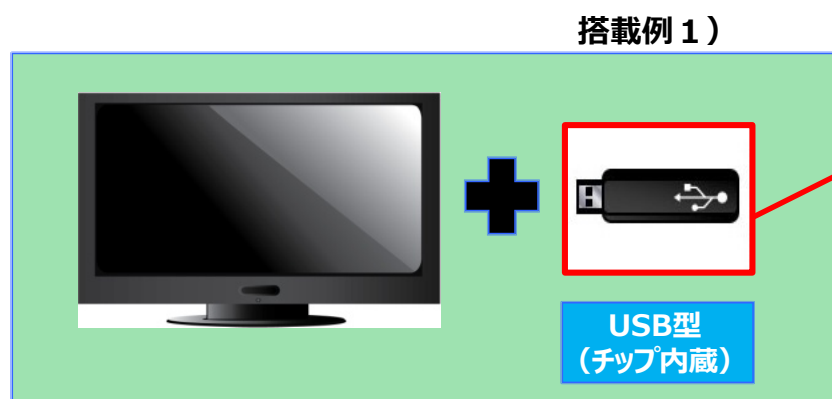


ACASチップの実装・搭載方法



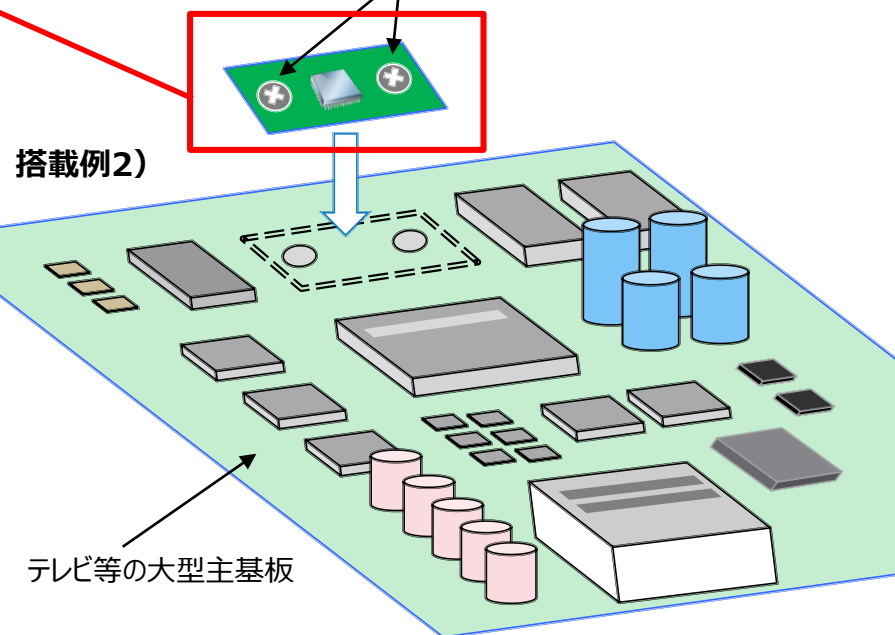
○基本的な方針：LSIチップの形態で電機メーカーに供給されるACASチップは、ハッカー等からの攻撃を受けにくくするために受信機に直接実装する事をお願いしています。

○暫定的措置：ただし、電機メーカーから提起された“導入初期リスクの懸念”を考慮し、暫定的措置として、期間を限定するかたちで（2020年3月まで）新CASチップを子基板化し「消費者（ユーザー）交換可能な形態での搭載」を許容しています。形態はメーカーにより異なります。例1は暫定期間での使用、例2はユーザー交換が容易ではないので暫定期間を過ぎても使用が可能です。



ACASチップ
子基板

ネジで脱着可能
(基板全体の交換が必要ない)



【発売又は発売予定のACAS搭載受信機】

※12月1日現在	計21社
4Kチューナー内蔵テレビ	5社
8Kチューナー内蔵テレビ	1社
8Kチューナー（外付け）	1社
4Kチューナー（外付け）	8社
4Kチューナー内蔵レコーダー	3社
4Kチューナー内蔵STB	3社



※商品企画により選択可能

※画像はイメージです